

山武長生夷隅地域保健医療連携・地域医療構想調整会議 第3回山武地域部会 開催結果について

千葉県 健康福祉部 健康福祉政策課 政策室

電話番号：043-223-2609 メール：khseisaku@mz.pref.chiba.lg.jp

山武地域部会の開催概要

会議名

山武長生夷隅地域保健医療連携・地域医療構想調整会議
第3回山武地域部会

開催趣旨

東千葉メディカルセンターが地域で期待される役割を果たしていくことを目的に
山武地域における医療機能の更なる役割分担の検討を行う。

日時

令和6年12月12日（木） 19時～20時半

場所

東千葉メディカルセンター 講堂

出席者

- ・ 山武地域内の調整会議委員（病院、保健所）
- ・ 関係者（市町首長、地元選出県議会議員）
- ・ 次世代医療構想センター、地域医療構想アドバイザー

議題

- (1)医療提供の状況等について
- (2)財務諸表分析について
- (3)地域医療連携の次なる局面について

出席者からのご意見①

■ 医療提供の状況について

- 流入流出については、医療圏で全部完結させる意味はあまりない。
- 二次医療圏という行政区分の中で、中等症や軽症をどれぐらい診るべきかという妥当性は、議論する必要がある。
- 東金市と九十九里町は東千葉メディカルセンターの設立団体であるので、その地域で発生する患者については、やはり8割ぐらいは診てもらいたい。
- 東千葉メディカルセンターの救急応需率は、千葉県内の重症患者を診ている病院（救命救急センター）の中で高い方である。

■ 病院経営について

- 医師数の減少による影響で病床稼働率が悪くなってしまった。
- 見直しの余地はまだ残されていると思われるので、なお一層の努力が必要。
- 各医療機関の自助努力、ないしは地域医療連携推進法人などを例とした共助を真剣に検討して、次の手を打つことを考えるべきである。

出席者からのご意見②

■ 地域医療連携推進法人について

- 小規模な民間病院等が調達できない高額な医薬品や車両等をレンタル・リースという形で安く導入することで、地域全体のメリットに繋がっている事例もある。
- 多くの民間病院や診療所、介護施設等があり、いかにそれらを巻き込むかが大事。地域医療連携推進法人のポイントは、「今できていなければ法人を作ってもできない」ということ。
- それぞれの病院が持つ特性を生かして、その上で連携してお互いに助け合いながら住民に対しての医療を行っていかねばいけない。

■ その他

- この会議を通じてより地域連携が深まり、地域の住民にとって医療がより充実していくような議論を深めていければありがたい。
- 何より、最後は、やはり住民が介護も含めて健康で暮らしていけることが重要。
- 住民に一番近いのは、首長である。小さな部会でもいいから、首長だけ集めたような会議で1回議論をするのはどうか。